

日 薬 業 発 第 274 号
令 和 6 年 11 月 5 日

都道府県薬剤師会担当役員 殿

日 本 薬 剤 師 会
副会長 原口 亨

令和6年度厚生労働科学研究費補助金「地域連携薬局・専門医療機関連携薬局が
地域で果たすべき機能に関する調査研究」に関するご協力をお願い
(再周知のお願い)

平素より本会会務にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

令和6年9月11日付け日薬業発第214号にてご連絡のとおり、現在、令和6年度
厚生労働科学研究費補助金の調査研究事業として、地域連携薬局に係るアンケート
調査が実施されているところですが、現時点で回答数が限られているとのことから、
研究班より再周知の依頼がありました。

依頼状等が送付された対象薬局におかれましては遺漏なくご回答いただきます
よう、あらためまして貴会会員にご周知いただきたく、会務ご多用のところ誠に恐
縮ですが何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、入力にあたり不具合や不明点等がある場合、参考別添1に記載の研究実
施責任者宛てにお問い合わせいただきますよう、併せてご案内ください。

<参考>

- 令和6年度厚生労働科学研究費補助金「地域連携薬局・専門医療機関連携薬局
が地域で果たすべき機能に関する調査研究」に関するご協力をお願い（令和6
年9月11日付．日薬業発第214号）

日 薬 業 発 第 214 号
令 和 6 年 9 月 11 日

都道府県薬剤師会担当役員 殿

日 本 薬 剤 師 会
副 会 長 原 口 亨

令和6年度厚生労働科学研究費補助金「地域連携薬局・専門医療機関連携薬局が地域で果たすべき機能に関する調査研究」に関するご協力のお願い

平素より本会会務にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

令和3年より開始された地域連携薬局・専門医療機関連携薬局の認定制度に関し、地域における実態を把握するとともに課題を整理し、今後求められる機能及びそれら機能を保有していることを評価するための手法・基準を作成するため、標記事業が実施されていることに関しましては、令和6年4月9日付け日薬業発第21号他にてご案内のとおりです。

今般、令和6年度事業として、地域連携薬局に係る調査が別添のとおり実施されることとなりましたので、お知らせいたします。

調査対象は地域連携薬局（約3,900軒）（及び対象群として地域連携薬局以外の薬局：各都道府県10薬局を無作為抽出）であり、依頼状等は今週より順次発送されるとのことです（回答は依頼状等の到着より2週間程度を目安）。

貴会におかれましても本調査の実施につきご了知頂きますとともに、依頼状等が送付された対象薬局におかれましては遺漏なくご回答いただきますよう、貴会会員にご周知方向何卒よろしくお願い申し上げます。

<別添>

1. 「地域連携薬局・専門医療機関連携薬局が地域で果たすべき機能に関する調査研究」地域連携薬局依頼状
2. 「地域連携薬局・専門医療機関連携薬局が地域で果たすべき機能に関する調査研究」地域連携薬局以外の薬局依頼状
3. 「地域連携薬局・専門医療機関連携薬局が地域で果たすべき機能に関する調査研究」地域連携局調査票
4. 「地域連携薬局・専門医療機関連携薬局が地域で果たすべき機能に関する調査研究」地域連携局以外の薬局調査票
5. 送付用封筒イメージ

2024 年 9 月

薬局 管理薬剤師 殿

令和 6 年度厚生労働科学研究費補助金
(医薬品・医療機器等レギュレトリーサイエンス政策研究事業)
地域連携薬局・専門医療機関連携薬局が地域で果たすべき機能に関する調査研究
研究代表者 山村重雄

地域連携薬局に対するアンケート調査への協力依頼

拝啓 貴薬局におかれましては益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

超高齢社会の日本におけるこれからの地域医療を考えたとき、地域包括ケアシステムの機能を十分に発揮させる必要があります。地域薬局は、地域包括ケアシステムの中核を担うことが期待されております。そのためには、地域連携薬局が地域において十分な機能を十分に果たす必要があります。認定薬局の数は増えてきておりますが、認定取得後、地域で具体的にどのような活動をしており、地域住民の健康な生活維持にどのような役割を果たしているかについては学会等で断片的な情報が公開されているにとどまっています。

そこで、令和 5 年度、6 年度厚生労働省科学研究費により、「地域連携薬局・専門医療機関連携薬局が地域で果たすべき機能に関する調査研究」を実施することとなりました。この研究では、すべての地域連携薬局（約 3900）を対象に、地域活動の現状および地域住民の健康な生活維持にどのような役割を果たしているかを調査することになりました。

地域連携薬局に対する質問は 47 項目あり、いくつかはさらに小項目に分かれております。なお、直近の認定申請時の状況に関しては、2023 年 12 月 31 日以前で直近の地域連携薬局の新規認定申請もしくは更新申請のときに使用した資料をもとに御回答してください。すべてを回答するのにおよそ 30-45 分程度の時間がかかるかと思われます。

調査結果は取りまとめの上、公表することがございますが、公表に際して、個別の薬局名・企業名が特定できる記載は一切行いませんので申し添えます。

また、本調査研究は、城西国際大学人を対象とする研究倫理審査委員会の承認を受けております。（承認番号 07F230040）

本調査研究の重要性をご理解頂きご回答いただきますようお願いいたします。

本調査は、WEBにてアンケート調査の回答を受け付けております。本依頼状がお手元に届きましたら2週間程度で、下記URLもしくはQRコードよりアンケート調査画面に入って頂き、本依頼状に記載しておりますID(半角5桁英数字含む)を入力してログインを頂いた上、ご回答を頂きますようお願い申し上げます。

なお、調査についてご不明な点等がございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

最後になりましたが、貴薬局のますますのご発展を祈念いたします。

敬具

実施責任者(問い合わせ先)

城西国際大学薬学部

特任教授 山村重雄

〒283-8555 千葉県東金市求名1

電話：0485-53-4544

s_yama@jiu.ac.jp

【アンケート入力URL】

<https://rsch.jp/e97ec179834642c1/login.php>



【ID】

bnvzu (例) ※個別のID(半角5桁英数字含む)

【アンケート回答へのアクセスについて】

下記 URL もしくは QR コードよりアンケート調査画面に入って頂き、本依頼状に記載しております I D (半角 5 桁英数字含む)を入力してログインを頂いた上、ご回答を頂きますようお願い申し上げます。

地域連携薬局の現状に関する調査

① アンケート実施要項

◇ 実施期間

2024年 月 日 () 24時まで

◇ 調査主体

城西国際大学 薬学部

◇ 業務委託

株式会社矢野経済研究所

◇ 調査運営

クロス・マーケティング アンケート事務局

◇ アンケート情報の利用目的

アンケートでご回答頂きました情報は、統計的な処理を行い、個人を特定できない情報として使用されますので、プライバシーにかかわる情報が公表されることは決してございません。
株式会社矢野経済研究所の個人情報の取り扱いにつきましては、[こちら](#)をご覧ください。

◇ アンケート内で知り得た情報について

当アンケートには秘密情報が含まれます。当アンケートの内容や知り得た情報は第三者に口外・開示しないようお願いいたします。

② 推奨環境について

アンケートにお答えいただくには下記の環境が必要です。

OS / ブラウザ

・ Microsoft Windows 10 / 11
Microsoft Edge
Firefox
Chrome

・ iOS 15 / 16 / 17
Safari

・ Android 11 / 12 / 13
Chrome

その他の設定、プラグインについて

・ JavaScriptを有効にしてください。
・ Cookieを有効(受け入れる)にしてください。

③ お問い合わせ窓口

◇ アンケートの内容に関するお問い合わせ (質問内容やテーマについて等)

調査主体: 城西国際大学薬学部 特任教授 山村重雄

お問い合わせ先: s_yama@jiu.ac.jp

TEL: 0485-53-4344

◇ アンケートのシステムに関するお問い合わせ (回答出来ない/ページが表示されない等)

調査運営: クロス・マーケティング アンケート事務局

お問い合わせ先: [こちら](#)の入力フォームからお問い合わせください。



上記に同意してアンケートに参加する

「上記に同意してアンケートに参加」ボタンを押すと次ページよりアンケートが開始します。

依頼状に記載されております ID をご入力いただき、下記の「上記に同意してアンケートに参加する」をクリックいただきますと右の画面に進みます。

地域連携薬局に対するアンケート調査への協力依頼

アンケート調査の趣旨

超高齢社会の日本におけるこれからの地域医療を考えたとき、地域包括ケアシステムの機能を十分に発揮させる必要があります。地域薬局は、地域包括ケアシステムの中核を担うことが期待されています。そのため、地域連携薬局が地域において十分な機能を十分に果たす必要があります。認定薬局の数は増えてきていますが、認定取得後、地域で具体的にどのような活動をしており、地域住民の健康な生活維持にどのような役割を果たしているかについては学会等で断片的な情報が公開されているにとどまっています。

そこで、令和5年度、6年度厚生労働省科学研究費により、「地域連携薬局・専門医療機関連携薬局が地域で果たすべき機能に関する調査研究」を実施することとなりました。この研究では、すべての地域連携薬局(約3900)を対象に、地域活動の現状および地域住民の健康な生活維持にどのような役割を果たしているかを調査することになりました。

地域連携薬局に対する質問は46項目あり、いくつかはさらに小項目に分かれております。なお、直近の認定申請時の状況に関しては、2023年12月31日以前で直近の地域連携薬局の新規認定申請もしくは更新申請のときに使用した資料をもとに御回答してください。すべてを回答するのにおよそ30-45分程度の時間がかかるかと思われます。調査結果は取りまとめの上、公表することがございますが、公表に際して、個別の薬局名・企業名が特定できる記載は一切行いませんので申し添えます。

○ 調査内容

・以下の調査項目にご回答いただきます。

○ 調査への参加について

・本調査への参加(webへの入力)は任意です。
・本調査に参加すること、および参加しないことにより、いかなる不利益を受けることはありません。
・また、本調査に参加することによるリスクは認められていません。
・最終確認前にブラウザを閉じれば、いつでも参加を中止することができます。

○ 調査画面の入力と個人情報の保護、データの保管について

・入力したデータをもとに薬局・企業名を特定することはありません。
・調査結果は取りまとめの上、公表することがございますが、取りまとめ及び公表に際して、個別の薬局名・企業名が特定できる記載は一切行いません。
・入力されたデータは、城西国際大学と業務委託契約締結した調査会社の保有するサーバー上に保管されますが、データの保守には十分配慮されます。

○ 解析用のデータはセキュリティ機能のあるUSBメモリーの中に保管され、厚生労働省への報告後5年間保管された後に物理的に破壊することで破棄される。

なお、本調査研究は、城西国際大学人を対象とする研究倫理審査委員会の承認を受けております。(承認番号07F230040)

本調査の本調査研究の重要性をご理解頂きご回答いただきますようお願いいたします。

実施責任者の連絡先

城西国際大学薬学部 特任教授 山村重雄
〒283-8655 千葉県黄金市求名1
電話:0485-53-4544 s_yama@jiu.ac.jp

城西国際大学と業務委託した調査会社

株式会社矢野経済研究所 PSU1 武田浩二
〒164-8620 東京都中野区本町2-46-2 中野板上セントラルビル
電話:03-5371-6925 ktakeda@yano.co.jp

SCI1

上記の内容に同意いただける場合は、「同意する」を選んでアンケートへお進みください。

同意する

同意しない

アンケート趣旨に同意いただき、「次へ」をクリックするとアンケート画面に進みます。

【アンケート回答に関する留意事項】

- ① ○ボタンは SA（単一回答）
- ② □ボタンは MA（複数回答）です。ただし、一つ以上選択してください。
- ③ 四角の入力欄は自由記述です。数値情報は数字のみの入力ができます。
「勤務地の都道府県」と「地域連携薬局の認定を受けた年月」はプルダウンメニューになっています。
- ④ 入力完了までの進捗状況が%で示されます。
- ⑤ 各画面で入力が終わったら、画面下のボタンをクリックください。
「次へ」を押すと、次の質問に移ります。
「前のページに戻る」をクリックすると、前のページに戻ります。なお、前のページに戻るさいには、ブラウザの「←（戻る）」は使用しないようお願いいたします。
どちらのボタンをクリックしても、そこまで入力された情報は保存されており、修正することが可能です。
最終ページで終了する前にブラウザを閉じても、「次へ」を押した設問まで入力されたデータは保存されています。
同じ URL からアクセスいただき ID を入力いただくと、前に入力した画面が再表示されますので、そこから入力を続けてください。
- ⑥ 最後の質問（CQ22）をご回答いただき「次へ」をクリックすると、「回答内容確認ページ」に移ります。
回答内容をご確認いただき、間違いが内容でしたら「送信」のボタンを押すと終了画面に移ります。
終了画面に移ると、それまでの入力データがサーバーに送信され、修正はできなくなります。
- ⑦ アンケートの中で距離に関する質問があります。距離の計測については、以下の URL にアクセスいただき、別紙の手順で計測し、ご回答ください。
MapFan (<https://mapfan.com/map/routes/search>)

■距離の計測方の手順

1 クリック

2 クリック

3 貴案局の住所を入力

4 クリック

5 医療機関の住所を入力

6 クリック

7 総距離を入力

MapFan ルート検索 マップツール ブックマーク おでかけプラン

ルート検索 出発 閉 X

S 出発地

G 目的地

理由地を指定 車中待機を指定

出発日時 現在時刻

ルート検索条件

ルート検索

目的地を検索

ブックマークから選択

現在 指定

出発地を検索

ブックマークから選択

理由地を指定 車中待機を指定

出発日時 現在時刻

ルート検索条件

ルート検索

ルート検索結果

S 中野線上セントラルビル

G 東京駅

総距離 1.9km

所要時間 07:10 13:19 6分 → 07:10 13:22 2分

ETC料金 0円 (普通車)

一般料金 0円

ルート詳細

ルート検索条件

2024 年 9 月

薬局 管理薬剤師 殿

令和 6 年度厚生労働科学研究費補助金
(医薬品・医療機器等レギュレトリーサイエンス政策研究事業)
地域連携薬局・専門医療機関連携薬局が地域で果たすべき機能に関する調査研究
研究代表者 山村重雄

地域連携薬局認定制度に関する調査への協力依頼

拝啓 貴薬局におかれましては益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

超高齢社会の日本の地域医療を充実させるためには、地域包括ケアシステムの機能を十分に発揮させることが必要であり、地域の薬局は、地域包括ケアシステムの中核を担うことが期待されております。

そこで、地域での認定薬局の活動の実態を把握する目的で、令和 5 年度、6 年度厚生労働省科学研究費により、「地域連携薬局・専門医療機関連携薬局が地域で果たすべき機能に関する調査研究」を実施することになりました。地域連携薬局が、地域住民の健康な生活維持にどのような役割を果たしているかについては学会等で断片的な情報が公開されていますが、地域連携薬局の認定を取得する過程の課題に関しては、十分な調査が行われてきてはいません。また、地域連携薬局の認定を取得してなくても、地域医療に貢献している薬局も多く存在すると認識しております。地域連携薬局の認定を取得していない理由は様々かと思われませんが、その理由の中に認定薬局制度の課題が潜んでいる可能性があると考えています。

そこで、地域連携薬局の認定取得制度に内在する課題を探索する目的で、現在、地域連携薬局の認定を取得していない薬局に対しても調査を実施することといたしました。調査は、薬局の背景と地域連携薬局の認定制度に対するご意見をうかがう内容になります。この調査では、保険薬局の登録されている薬局から各県で 10 薬局を無作為に選抜し、この調査票を送付しております。

ぜひ、地域における薬局の機能を高めるための基本情報の収集の一環として、本調査にご協力いただきたく、お願い申し上げます。

質問は 38 (項目数は実際の項目数にしてください) 項目あり、いくつかはさらに小項目に分かれております。すべてを回答するのにおよそ 20-30 分程度の時間がかかるかと思われれます。

調査結果は取りまとめの上、公表することがございますが、公表に際して、個別の薬局名・企業名が特定できる記載は一切行いませんので申し添えます。

また、本調査研究は、城西国際大学人を対象とする研究倫理審査委員会の承認を受けております。(承認番号 07F230040)

本調査研究の重要性をご理解頂き、以下の解答方法をご確認の上、ご回答いただきますようお願い

いたします。

本調査は、WEB にてアンケート調査の回答を受け付けております。本依頼状がお手元に届きましたら 2 週間程度で、下記 URL もしくは QR コードよりアンケート調査画面に入って頂き、本依頼状に記載しております ID (半角 5 桁英数字含む) を入力してログインを頂いた上、ご回答を頂きますようお願い申し上げます。

なお、調査についてご不明な点等がございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

最後になりましたが、貴薬局のますますのご発展を祈念いたします。

敬具

実施責任者（問い合わせ先）

城西国際大学薬学部

特任教授 山村重雄

〒283-8555 千葉県東金市求名1

電話：0485-53-4544

s_yama@jiu.ac.jp

【アンケート入力URL】

<https://rsch.jp/d8978d6f3f19620e/login.php>



【ID】

bnvzu (例) ※個別の ID (半角 5 桁英数字含む)

【アンケート回答へのアクセスについて】

下記 URL もしくは QR コードよりアンケート調査画面に入って頂き、本依頼状に記載しております I D (半角 5 桁英数字含む)を入力してログインを頂いた上、ご回答を頂きますようお願い申し上げます。

地域連携薬局認定制度に関する調査

① アンケート実施要項

◇ 実施期間

2024年 月 日 () 24時まで

◇ 調査主体

城西国際大学 薬学部

◇ 業務委託

株式会社矢野経済研究所

◇ 調査運営

[クロス・マーケティング アンケート事務局](#)

◇ アンケート情報の利用目的

アンケートでご回答頂きました情報は、統計的な処理を行い、個人を特定できない情報として使用されますので、プライバシーにかかわる情報が公表されることは決まていません。株式会社矢野経済研究所の個人情報の取り扱いにつきましては、[こちら](#)をご覧ください。

◇ アンケート内で知り得た情報について

当アンケートには機密情報が含まれます。当アンケートの内容や知り得た情報は第三者に口外・開示しないようお願いいたします。

② 推奨環境について

アンケートにお答えいただくには下記の環境が必要です。

OS / ブラウザ

・ Microsoft Windows 10 / 11	・ iOS 15 / 16 / 17
・ Microsoft Edge	・ Safari
・ Firefox	
・ Chrome	・ Android 11 / 12 / 13
	・ Chrome

その他の設定、プラグインについて

・ JavaScriptを有効にしてください。
・ Cookieを有効（受け入れる）にしてください。

③ お問い合わせ窓口

◇ アンケートの内容に関するお問い合わせ（質問内容やテーマについて等）

調査主体： 城西国際大学薬学部 特任教授 山村重雄

お問い合わせ先： s_yama@jiu.ac.jp

TEL： 0485-53-4344

◇ アンケートのシステムに関するお問い合わせ（回答出来ない/ページが表示されない等）

調査運営： クロス・マーケティング アンケート事務局

お問い合わせ先： [こちら](#)の入力フォームからお問い合わせください。



上記に同意してアンケートに参加する

「上記に同意してアンケートに参加」ボタンを押すと次ページよりアンケートが開始します。

依頼状に記載されております ID をご入力いただき、下記の「上記に同意してアンケートに参加する」をクリックいただきますと右の画面に進みます。

アンケート調査の趣旨

超高齢社会の日本の地域医療を充実させるためには、地域包括ケアシステムの機能を十分に発揮させることが必要であり、地域の薬局は、地域包括ケアシステムの中核を担うことが期待されております。

そこで、地域での認定薬局の活動の実態を把握する目的で、令和6年度、6年度厚生労働省科学研究費により、「地域連携薬局・専門医療機関連携薬局が地域で果たすべき機能に関する調査研究」を実施することになりました。地域連携薬局が、地域住民の健康な生活維持にどのような役割を果たしているかについては学会等で断片的な情報が公開されていますが、地域連携薬局の認定を取得する過程の課題に関しては、十分な調査が行われてきてはいません。また、地域連携薬局の認定を取得してなくても、地域医療に貢献している薬局も多く存在すると認識しております。地域連携薬局の認定を取得していない理由は様々かと思われしますが、その理由の中に認定薬局制度の課題が潜んでいる可能性があると考えています。

そこで、地域連携薬局の認定取得制度に内在する課題を探索する目的で、現在、地域連携薬局の認定を取得していない薬局に対しても調査を実施することいたしました。調査は、薬局の背景と地域連携薬局の認定制度に対するご意見をうかがう内容になります。この調査では、保険薬局の登録されている薬局から各県で10薬局を無作為に選抜し、この調査票を送付しております。ぜひ、地域における薬局の機能を高めるための基本情報の収集の一環として、本調査にご協力いただきたく、お願い申し上げます。

○ 調査内容

・以下の調査項目にご回答いただきます。

○ 調査への参加について

・本調査への参加(webへの入力)は任意です。
・本調査に参加すること、および参加しないことにより、いかなる不利益を受けることはありません。
・また、本調査に参加することによるリスクは認められていません。
・最終確認前にブラウザを閉じれば、いつでも参加を中止することができます。

○ 調査画面の入力と個人情報の保護、データの保管について

・入力したデータをもとに薬局・企業名を特定することはありません。
・調査結果は取りまとめの上、公表することがございますが、取りまとめ及び公表に際して、個別の薬局名・企業名が特定できる記載は一切行いません。
・入力されたデータは、城西国際大学と業務委託契約締結した調査会社の保有するサーバー上に保管されますが、データの保守には十分配慮されます。

○ 解析用のデータはセキュリティ機能のあるUSBメモリーの中に保管され、厚生労働省への報告後5年間保管された後に物理的に破壊することで破棄される。

なお、本調査研究は、城西国際大学人を対象とする研究倫理審査委員会の承認を受けております。(承認番号07F230040)

本調査の本調査研究の重要性をご理解頂きご回答いただきますようお願いいたします。

実施責任者の連絡先

城西国際大学薬学部 特任教授 山村重雄

〒283-8555 千葉県東金市求名1

電話:0485-53-4544 s_yama@jiu.ac.jp

城西国際大学と業務委託した調査会社

株式会社矢野経済研究所 PSU1 武田浩二

〒164-8620 東京都中野区本町2-46-2 中野板上セントラルビル

電話:03-5371-6925 ktakeda@yano.co.jp

SC1

上記の内容に同意いただける場合は、「同意する」を選んでアンケートへお進みください。

同意する

同意しない

アンケート趣旨に同意いただき、「次へ」をクリックするとアンケート画面に進みます。

【アンケート回答に関する留意事項】

- ① ○ボタンは SA（単一回答）
- ② □ボタンは MA（複数回答）です。ただし、一つ以上選択してください。
- ③ 四角の入力欄は自由記述です。数値情報は数字のみの入力ができます。
「勤務地の都道府県」と「地域連携薬局の認定を受けた年月」はプルダウンメニューになっています。
- ④ 入力完了までの進捗状況が%で示されます。
- ⑤ 各画面で入力が終わったら、画面下のボタンをクリックください。
「次へ」を押すと、次の質問に移ります。
「前のページに戻る」をクリックすると、前のページに戻ります。なお、前のページに戻るさいには、ブラウザの「←（戻る）」は使用しないようお願いいたします。
どちらのボタンをクリックしても、そこまで入力された情報は保存されており、修正することが可能です。
最終ページで終了する前にブラウザを閉じても、「次へ」を押した設問まで入力されたデータは保存されています。
同じ URL からアクセスいただき ID を入力いただけますと、前に入力した画面が再表示されますので、そこから入力を続けてください。
- ⑥ 最後の質問（BQ20）をご回答いただき「次へ」をクリックすると、「回答内容確認ページ」に移ります。回答内容をご確認いただき、間違いが内容でしたら「送信」のボタンを押すと終了画面に移ります。
終了画面に移ると、それまでの入力データがサーバーに送信され、修正はできなくなります。
- ⑦ アンケートの中で距離に関する質問があります。距離の計測については、以下の URL にアクセスいただき、別紙の手順で計測し、ご回答ください。
MapFan (<https://mapfan.com/map/routes/search>)

■ 距離の計測方の手順

<p>1</p> <p>クリック</p>	<p>2</p> <p>クリック</p>
<p>3</p> <p>貴薬局の住所を入力</p>	<p>4</p> <p>クリック</p>
<p>5</p> <p>医療機関の住所を入力</p>	<p>6</p> <p>クリック</p>
<p>7</p> <p>総距離を入力</p>	

地域連携薬局に対するアンケート調査

I 薬局の基本情報について

AQ1. 同一グループ(財務上又は営業上若しくは事業上、緊密な関係にある範囲の保険薬局)の店舗数(貴薬局を含む)で当てはまるものを選択してください。(ひとつだけ)

- 1.1 店舗
- 2.2～5 店舗未満
- 3.5～20 店舗未満
- 4.20 店舗以上 50 店舗未満
- 5.50 店舗以上 300 店舗未満
- 6.300 店舗以上

AQ2. 貴薬局の所在地を教えてください。(ひとつだけ)

都道府県を選択してください。

AQ3. 貴薬局周辺の公共交通機関の運行状況について教えてください。(ひとつだけ)

1. 正午時間帯に 15 分以内の間隔で運行している。
2. 正午時間帯に 30 分以内の間隔で運行している。
3. 正午時間帯に 60 分以内の間隔で運行している。
4. 正午時間帯にほとんど運航されておらず、自家用車など交通手段が必要である。
5. その他(自由記述)

AQ4. 貴薬局の立地の状況を教えてください。

- a. 診療所の敷地内または周辺
- b. 大病院(400 床以上)の敷地内または周辺
- c. 中小病院(400 床未満)の敷地内または周辺
- d. 同一ビル内に複数の医療施設(医療モール)
- e. 同一ビル内に単一の医療機関
- f. 同一敷地内に複数の医療機関(医療ビレッジ)
- g. その他(自由記述)

AQ5. 貴薬局の開局からの年数を教えてください。

(整数半角でお答えください)

() 年

AQ6. 貴薬局(当該店舗)に勤務する薬剤師の人数についてお答えください。

(該当者がいない場合は「0」と記入)

	常勤薬剤師	非常勤薬剤師
1.当該店舗に勤務する薬剤師数(休職中の者も含む)	人	人
2.当該店舗に1年以上勤務している薬剤師数	人	人
3.薬剤師認定制度認証機構が認証している研修認定制度等の研修認定を取得した薬剤師数	人	人
4.健康サポート薬局研修受講済み薬剤師数	人	人
5.かかりつけ薬剤師として登録している薬剤師数	人	人

※常勤薬剤師数は、貴薬局で定めた就業規則に基づく勤務時間の全てを勤務する薬剤師とします。

※非常勤薬剤師は、勤務時間が貴薬局で定める勤務時間に満たない薬剤師とします。

AQ7. 貴薬局における 2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日間の処方箋受付回数を教えてください。

() 回

AQ8. 貴薬局で処方箋応需回数が最も多い医療機関が占める処方箋集中率(%)を教えてください。(小数点第 1 位まで)

() %

AQ9. 2024 年 1 月 1 日現在での貴薬局で届出または算定しているものがあれば教えてください。(いくつでも)

1. 地域支援体制加算 1
2. 地域支援体制加算 2
3. 地域支援体制加算 3
4. 地域支援体制加算 4
5. 服薬情報提供料 1
6. 服薬情報提供料 2
7. 服薬情報提供料 3
8. 特定薬剤管理指導加算 2
9. 連携強化加算
10. かかりつけ薬剤師包括管理料
11. かかりつけ薬剤師指導料
12. 無菌製剤処理加算
13. 在宅患者調剤加算
14. 在宅患者訪問薬剤管理指導料
15. あてはまるものはない

AQ10. 貴薬局では健康サポート薬局の届出を行っていますか。(ひとつだけ)

1. はい
2. いいえ (要件は満たしているが、届出していない)
3. いいえ (要件を満たしていないため、届出していない)

AQ11_1. 貴薬局では OTC 医薬品 (要指導医薬品・一般用医薬品) の販売をしていますか? (ひとつだけ)

1. はい
2. いいえ

AQ11_2. AQ11_1 の質問で、「はい」と回答された方は、OTC 医薬品を販売している場合、取り扱っている製品の品目数を教えてください。

(同じ製品でも、規格や含有数が異なる物は別製品として考えるため、JAN コードが異なれば、同一の医薬品でも別物としてカウントしてください。)

() 品目

AQ12. 2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日で、貴薬局が開局時間外に患者や地域住民から受けた相談件数の頻度を教えてください。(ひとつだけ)

1. なかった
2. 月 1 回程度
3. 週 1 回程度
4. 週 2～5 回程度
5. 週 6 回以上

AQ13 夜間・休日等の開局時間外の調剤について

AQ13_1. 2023年1月1日～12月31日で、貴薬局が夜間・休日等の開局時間外に患者などから調剤の求めはありましたか。(ひとつだけ)

1. なかった
2. 月1回程度
3. 週1回程度
4. 週2～5回程度
5. 週6回以上

AQ13_2 AQ13_1の質問で、「2～5」と回答された方は、そのときどのような対応をされていますか。(ひとつだけ)

1. 主に自薬局で調剤する
2. 主に時間外の調剤に対応する他の薬局(夜間・休日の輪番薬局)などを紹介する
3. その他(自由記述)

AQ13_3 開局時間外に、相談を応需できるようにするために、薬局への連絡先を患者や地域住民にどのような方法で周知していますか。(いくつでも)

1. 薬剤情報提供書
2. おくすり手帳
3. 薬袋
4. 自局のホームページ
5. 行政・薬剤師等のホームページ
6. パンフレットなど
7. 周知していない
8. その他(自由記載)

AQ14. 2023年12月31日に、貴薬局で在庫していた調剤用医薬品の品目数を教えてください。

(同じ医薬品名でも、剤形、規格や含有数が異なる場合は別製品として考えるため、GS1コードが異なれば、同一の医薬品でも別製品としてカウントしてください。)

() 品目

AQ15. 2023年12月31日に、貴薬局で在庫していた麻薬の品目数を教えてください。(同じ医薬品名でも、剤形、規格や含有数が異なる物は別製品として考えるため、GS1コードが異なれば、同一の医薬品でも別物としてカウントしてください。)

() 品目

AQ16. 貴薬局の在庫医薬品の周知について教えてください。

AQ16_1. 貴薬局で、在庫している医薬品の情報を近隣の薬局などに周知していますか。(ひとつだけ)

1. 周知している
2. 周知していない

AQ16_2. AQ16_1の質問で、「周知している」と回答された方は、どのような方法で周知していますか。(いくつでも)

1. インターネットで閲覧できるようにしている
2. 在庫一覧表を配布している
3. その他(自由記述)

AQ17. 貴薬局は、地域の薬剤師会（県薬剤師会、地域薬剤師会等）との連携は取れていると思いますか。（ひとつだけ）

1. 十分に取れていると思う
2. ある程度は取れていると思う
3. あまり取れていないと思う
4. まったく取れていないと思う
5. 薬剤師会に加入している薬剤師はいない
6. その他（自由記述）

AQ18. 貴薬局は、地域で健康サポートや医薬品に関する教育等をどのような方法でおこなっていますか。（いくつでも）

1. 薬局単独でおこなっている
2. 近隣の施設と連携しておこなっている
3. 自治体と連携しておこなっている
4. おこなっていない

II 地域連携薬局に対する質問

BQ1. 貴薬局が、地域連携薬局の認定を受けた年月日を教えてください。

() 年 () 月 () 日

BQ2. 貴薬局では、地域連携薬局であることをどのように掲示・広報していますか。(いくつでも)

1. 店内に認可証を掲示している
2. 自作したポスターなどで地域連携薬局であることを示している
3. 薬局の外看板などに地域連携薬局であることを示している
4. 薬局のホームページや SNS のページに掲載している
5. 地域の広報誌などに地域連携薬局であることを掲載した
6. 来局者にパンフレットなどを配布した
7. 地域住民に郵便物にて周知した
8. 地域の医療機関に対しメール、手紙などで案内した
9. 会議、勉強会などで地域の医療機関に周知した
10. 地域の薬剤師会を通して地域の医療機関に周知した
11. その他(自由記載)

BQ3. 貴薬局では、地域連携薬局であることを掲示したり、周知したりしたことで、来局者から地域連携薬局の役割や機能について質問を受けたことがありますか。(ひとつだけ)

1. 一度もない
2. 月に1~2件
3. 月に3~20件
4. 月に21件以上

BQ4. 貴薬局が地域連携薬局に認定され、その維持にかかっている費用について教えてください。

BQ4_1. 地域連携薬局に認定を受けるために必要となった通常経費以外の経費(新たに設置した備品、薬剤師の研修のための費用や交通費など(年額)、新規申請費など)の金額を教えてください。(ひとつだけ)

1. 10万円未満
2. 10万円以上50万円未満
3. 50万円以上100万円未満
4. 100万円以上

BQ4_2. 地域連携薬局の認定を受けた後、地域連携薬局を維持するために、1年間で必要となる通常経費以外の経費(薬剤師の研修のための費用や交通費など、更新申請費、備品費など)の金額を教えてください。(ひとつだけ)

1. 10万円未満
2. 10万円以上50万円未満
3. 50万円以上100万円未満
4. 100万円以上

BQ5. 貴薬局で実施している「地域包括ケアシステムに関する内容の研修」に関して教えてください。

BQ5_1. 2023年1月1日~12月31日に当該薬局の勤務薬剤師に行った地域包括ケアシステムに関する内容の研修回数を教えてください。

() 回

BQ5_2. BQ5_1の質問で1回以上と回答した場合、実施した研修は、どのような方法で実施しましたか。(いくつでも)

1. 自施設での集合研修
2. グループ薬局内での集合研修
3. 外部の研修会などへの参加
4. その他(自由記載)

BQ6. 貴薬局では、地域連携薬局に認定された後、2023年1月1日～12月31日に他の薬局やその他の事業所に医薬品適正使用に関する情報提供を実施した実績及び薬局数、その他の事業所の数を教えてください。(該当しない場合は「0」と記入)

BQ6_1. 実施回数 () 回

BQ6_2. 薬局数 () 店舗

BQ6_3. その他の事業所数 () 事業所

BQ7. 貴薬局が自治体と協働して行った活動実態について教えてください。

BQ7_1. 地域連携薬局に認定された後、2023年1月1日～12月31日に地域連携薬局に関する事由で自治体と協働して行った活動はありますか。(ひとつだけ)

1. ある
2. ない

BQ7_2. BQ7_1の質問で、「1.ある」と回答された方は、その回数を教えてください。
() 回

BQ7_3. 主な活動内容を簡潔に教えてください。
(自由記載)

BQ8. 貴薬局が、地域の薬剤師会(都道府県薬剤師会、地域薬剤師会等)と協働して行った活動について教えてください。

BQ8_1. 地域連携薬局に認定された後、2023年1月1日～12月31日に地域連携薬局に関する事由で地域の薬剤師会と協働して行った活動はありますか。(ひとつだけ)

1. ある
2. ない

BQ8_2. BQ8_1の質問で、「ある」と回答された方は、その回数を教えてください。
() 回

BQ8_3. 主な活動内容を簡潔に教えてください。(自由記載)

Ⅲ 直近の認定申請時の状況について

CQ1. 貴薬局が、下記の地域包括ケアシステムの構築に資する会議に参加した回数を教えてください。(該当者がいない場合は「0」と記入)

- CQ1_1. 市町村又は地域包括支援センターが主催する地域ケア会議 () 回
- CQ1_2. 介護支援専門員が主催するサービス担当者会議 () 回
- CQ1_3. 多職種が参加する退院時カンファレンス () 回
- CQ1_4. その他の会議 (自由記載) () 回

CQ2. 貴薬局が地域における医療機関に勤務する薬剤師等に対して随時報告及び連絡した実績を教えてください。

- CQ2_1. 利用者が入院するに当たって情報共有を行った回数 年間 () 回
- CQ2_2. 外来利用者に関して情報共有を行った回数 年間 () 回
- CQ2_3. 医療機関からの退院に当たって情報共有を行った回数 年間 () 回
- CQ2_4. 居宅等における調剤並びに情報の提供及び薬学的知見に基づく指導在宅訪問で薬学管理を行った結果、情報共有を行った回数 年間 () 回
- CQ2_5. 上記の質問で報告及び連絡した実績のうち、多く報告した医療機関等の順に、上位 3 位までの報告数とその医療機関までの距離を教えてください。

※距離の計測は、MapFan (<https://mapfan.com/map/routes/search>)を用いて、道路の道順での距離を算定してください。

- ・1位 () 回、() km
- ・2位 () 回、() km
- ・3位 () 回、() km

CQ2_7. 上記の質問 (CQ2_1) で報告及び連絡した実績のうち、最も多く報告した医療機関の職種を教えてください。(ひとつだけ)

1. 医師
2. 歯科医師
3. 薬剤師
4. 看護師
5. 介護支援専門員
6. その他 (自由記載)

CQ2_8. 上記の質問 (CQ2_1) で報告及び連絡した実績のうち、経験があるものと最も多い方法を教えてください。

	も い く つ で り	経 験 あ り	だ い も っ と も つ 多
1.印刷した文書 (提出または郵送) で報告	1		1
2.電子化した文書(電子メール等)で報告	2		2
3.その他の方法で報告 (例えば FAX)	3		3
4.緊急時の電話対応	4		4
5.その他 (自由記述)	5		5

CQ3. 過去 1 年間の休日及び調剤応需体制について教えてください。

- CQ3_1. 調剤実績 () 回
- CQ3_2. 開局日数 () 日

CQ4. 他の薬局開設者の薬局に対し、過去 1 年間の医薬品提供した回数について教えてください。

CQ4_1. 在庫として保管する医薬品を必要な場合に他の薬局開設者の薬局に提供した過去 1 年間の医薬品提供の回数を教えてください。

提供回数 () 回

CQ4_2. CQ4_1 で医薬品の提供を行った薬局のうち、上位 3 位までの提供回数とその薬局までの距離を教えてください。

※距離の計測は、MapFan (<https://mapfan.com/map/routes/search>)を用いて、道路の道順での距離を算定してください。

・1 位 () 回、() km

・2 位 () 回、() km

・3 位 () 回、() km

CQ5. 貴薬局における過去 1 年間の麻薬の応需体制について教えてください。

調剤実績 () 回

CQ6. 貴薬局の無菌製剤処理を実施できる体制について教えてください。

CQ6_1. 無菌製剤処理を実施できる体制として用意しているものと、過去 1 年間の調剤の実績を教えてください。(いくつかでも)

	で対応 (いくつ)	件数
1.自局で対応	1	件
2.共同利用による対応	2	件
3.他の薬局の紹介	3	件
4.その他 (自由記述)	4	件

CQ6_2. 無菌製剤処理を他の薬局で実施するとき、主に依頼する薬局までの距離を教えてください。

※距離の計測は、MapFan (<https://mapfan.com/map/routes/search>)を用いて、道路の道順での距離を算定してください。

() km

CQ7. 貴薬局が、医療安全対策として報告した以下のものについて、報告回数を教えてください。

CQ7_1. 医薬品に係る副作用等の報告回数 () 回

CQ7_2. 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業への参加の報告回数 () 回

CQ8. 地域包括ケアシステムに関する研修を修了した常勤薬剤師について教えてください。

・研修を修了した常勤薬剤師数 () 人

CQ9. 貴薬局の薬剤師が受講した「健康サポート薬局研修」の主催機関及び受講者数を教えてください。

- CQ9_1. 公益社団法人 日本薬剤師会・公益財団法人日本薬剤師研修センター () 人
- CQ9_2. 特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women () 人
- CQ9_3. 一般社団法人 日本保険薬局協会 () 人
- CQ9_4. 一般社団法人 上田薬剤師会 () 人
- CQ9_5. 一般社団法人 薬局共創未来人材育成機構 () 人
- CQ9_6. 一般社団法人 日本薬業研修センター () 人
- CQ9_7. 一般社団法人 イオン・ハピコム人材総合研修機構 () 人
- CQ9_8. その他 (自由記述) () 人

CQ10. 居宅等における調剤並びに情報の提供及び薬学的知見に基づく指導の実績を教えてください。

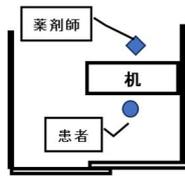
- CQ10_1. 実施回数 年間 () 回
- CQ10_2. 過去 1 年間に居宅等における調剤並びに情報の提供及び薬学的知見に基づく指導を行った患者総数 () 人
- CQ10_3. 居宅の件数 () 件
- CQ10_4. 施設の件数 () 件
- CQ10_5. 居宅等における調剤並びに情報の提供及び薬学的知見に基づく指導において、平均的な 1 回の訪問にかかる滞在時間を教えてください。(ひとつだけ)
 - 1. 10 分未満
 - 2. 10 分以上 30 分未満
 - 3. 30 分以上 1 時間未満
 - 4. 1 時間以上
- CQ10_6. 居宅等におけるすべての実績で、居宅療養管理指導もしくは在宅患者訪問薬剤管理指導料、在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料を算定していますか。(ひとつだけ)
 - 1. 全件算定している
 - 2. 一部算定している
 - 3. 全件算定していない

CQ11. 貴薬局が、地域連携薬局の要件を満たすにあたり、下記の要件の中で、苦勞された点があれば教えてください。(いくつでも)

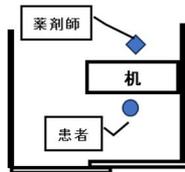
- 1. 構造設備に関する要件
- 2. 他医療提供施設との情報連携体制に関する要件
- 3. 地域における薬剤の安定供給体制に関する要件
- 4. 在宅医療体制に関する要件
- 5. 従事する保険薬剤師に関する要件
- 6. 書類の準備や作成に苦勞した
- 7. その他 (自由記載)
- 8. 苦勞するところはなかった

CQ12. 貴薬局において、利用者の服薬指導等の際に配慮した構造設備（説明環境）は、下記のどちらになりますか。（ひとつだけ）

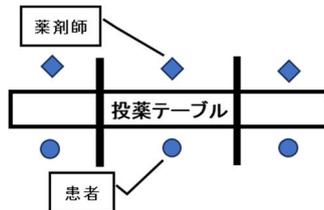
1. 天井まで遮蔽され壁で覆われている完全個室（他人の目に触れることはなく、隣の話し声が聞こえにくい状況）



2. パーティションなどで他の患者と区分された半個室(壁が天井まで覆われていない)ブース（他人の目に触れることはないが、隣の話し声が聞こえる状況）



3. 投薬カウンターに、隣の患者とパーティションで分けられ、患者や顧客が着座できるスペース（他人の目に触れ、隣の話し声が聞こえる状況）



4. その他（自由記述）

CQ13. 貴薬局における、地域連携薬局の認定要件について教えてください。

CQ13_1. 構造設備に関する要件を満たすためにハードルが高かった内容があれば教えてください。（いくつでも）

1. 相談内容が漏洩しないよう配慮した設備の設置が難しかった
2. 座って服薬指導を受ける設備の設置が難しかった
3. 高齢者、障害者等の円滑な利用に適した構造の設置が難しかった
4. 無菌製剤処理を実施できる体制の設置が難しかった
5. その他（自由記載）
6. ハードルが高いと思われる要件はなかった

CQ13_2. CQ13_1 の質問で「1～5」と回答した方にお聞きます。構造設備に関する要件を満たすことが難しかった理由があれば教えてください。（いくつでも）

1. 設置するスペースの確保が難しかった
2. 設置するための金銭面の確保が難しかった
3. どのような設備を設置すればよいかわからなかった
4. その他（自由記載）

- CQ13_3. 他医療提供施設との情報連携体制に関する要件（医療機関の薬剤師等へ対する月平均 30 回以上の報告・連絡実績の確保）を満たすためにハードルが高かった内容があれば教えてください。（いくつでも）
1. 入院・退院に関する情報提供に関して、医療機関からの求めや情報提供がないと薬局からの情報提供が難しく、実績の確保が難しかった
 2. 外来患者の情報提供についてどのような内容を提供すればよいかかわらず実績の確保が難しかった
 3. 居宅等の実績がない、もしくは少ないため情報提供の実績確保が難しかった
 4. いずれの情報提供についても情報提供先がどのような情報を必要としているのかわからず情報提供することが難しかった
 5. その他（自由記載）
 6. ハードルが高いと思われる要件はなかった
- CQ13_4. 地域における薬剤の安定供給体制に関する要件を満たすためにハードルが高かった内容があれば教えてください。（いくつでも）
1. 夜間・休日等の時間外対応の体制の確立が難しかった
 2. 麻薬の調剤応需体制の確立が難しかった
 3. 他薬局への医薬品の提供や情報提供体制の確立が難しかった
 4. 高度管理医療機器販売業の取得が難しかった
 5. 医療材料・衛生材料の提供体制の確立が難しかった
 6. その他（自由記載）
 7. ハードルが高いと思われる要件はなかった
- CQ13_5. 在宅医療体制に関する要件を満たすためにハードルが高かった内容があれば教えてください。（いくつでも）
1. 月平均 2 回以上の在宅医療実績数の確保が難しかった。
 2. 地域包括ケアシステムの構築に資する会議への参加が難しかった。
 3. その他（自由記載）
 4. ハードルが高いと思われる要件はなかった。
- CQ13_6. CQ13_5 の質問で「1. 月平均 2 回以上の在宅医療実績数の確保が難しかった。」と回答された方への質問です。その理由を教えてください。（ひとつだけ）
1. 居宅等のサービス提供実績がない、もしくは少ないため。
 2. 居宅等サービスを提供している患者は複数名いるが、同一施設に入所しているため。
 3. その他（自由記載）
- CQ13_7. CQ13_5 の質問で「2. 地域包括ケアシステムの構築に資する会議への参加が難しかった。」と回答された方への質問です。その理由を教えてください。（いくつでも）
1. 地域包括ケアシステムの構築に資する会議への参加実績がこれまでになく、どのように参加すればよいかわからなかった。
 2. どのような会議が地域包括ケアシステムの構築に資する会議にあたるのかわからなかった。
 3. 薬局のマンパワーの問題で地域包括ケアシステムの構築に資する会議へ参加するのが困難だった。
 4. 開催日時（曜日、時間帯）が薬局の営業時間等と合わず、地域包括ケアシステムの構築に資する会議へ参加するのが困難だった。
 5. その他（自由記載）
- CQ13_8. 従事する薬剤師に関する要件を満たすためにハードルが高かった内容があれば教えてください。（いくつでも）
1. 常勤薬剤師の半数以上が 1 年以上常勤として勤務するのが難しかった。
 2. 常勤薬剤師の半数以上が健康サポート薬局研修を修了しているのが難しかった。
 3. すべての薬剤師が地域包括ケアシステムに係る内容が学習できる研修を毎年継続的に受講するのが難しかった。
 4. その他（自由記載）

- CQ13_9. CQ13_8の質問で「2. 常勤薬剤師の半数以上が健康サポート薬局研修を修了しているのが難しかった。」と回答された方への質問です。その理由を教えてください。(いくつでも)
1. 薬局間で人事異動があるため、常時、「常勤薬剤師の半数以上」という認定条件を維持できない。
 2. 「健康サポート薬局研修」が、いつ、どこで行われているのかなどの研修開講の情報を知る手段が分からなかった。
 3. 「健康サポート薬局研修」の開催回数が不足していて、応募したかったが参加できなかった。
 4. その他(自由記載)
- CQ13_10. 医療安全対策に関する要件を満たすことが難しかった理由があれば教えてください。(いくつでも)
1. 「医薬品に係る副作用等の報告」を行う対象患者があらわれなかった。
 2. 「医薬品に係る副作用等の報告」を行う方法が分からなかった。
 3. 薬局ヒヤリ・ハットに該当する事例がなかった。
 4. 薬局ヒヤリ・ハット事例の具体的な報告方法が分からなかった。
 5. その他(自由記載)
 6. 困難であると思われる要件はなかった。
- CQ14. 貴薬局で、地域連携薬局に認定される前後で、管理薬剤師としての業務に変化が生じたと感じますか。(ひとつだけ)
1. 大いに感じる
 2. やや感じる
 3. どちらともいえない
 4. あまり感じない
 5. まったく感じない
- CQ15. 貴薬局で地域連携薬局に認定される前後で、管理薬剤師としてのやりがいに変化が生じたと感じますか。(ひとつだけ)
1. 大いに感じる
 2. やや感じる
 3. どちらともいえない
 4. あまり感じない
 5. まったく感じない
- CQ16. 貴薬局で地域連携薬局に認定される前後で、他の医療機関から依頼や相談を求められることはどのように変わりましたか。
1. 大きく増加した
 2. やや増加した
 3. 変わらない
 4. やや減少した
 5. 大きく減少した
- CQ17. 貴薬局で地域連携薬局に認定される前後で、患者や地域住民から依頼や相談を求められることはどのように変わりましたか。(ひとつだけ)
1. 大きく増加した
 2. やや増加した
 3. 変わらない
 4. やや減少した
 5. 大きく減少した

CQ18. 貴薬局で地域連携薬局に認定されたことのメリットについて教えてください。

CQ18_1. 認定を受けていない他の薬局と比較して業務や待遇などの面でメリットを感じることはありますか。(ひとつだけ)

1. 大いにメリットを感じる
2. ややメリットを感じる
3. どちらでもない
4. ややデメリットを感じる
5. 大いにデメリットを感じる

CQ18_2. CQ18_1 の質問で、「1. 大いにメリットを感じる」、「2. ややメリットを感じる」と回答された方は、どういったことに関して、メリットを感じていますか。(いくつでも)

1. 来局患者数が増えた
2. 在宅医療の依頼が増えた
3. 地域の薬局や医療施設に勤める薬剤師に対して指導的立場になることができた
4. 給与が増加した
5. その他(自由記載)

CQ19. 貴薬局の地域連携薬局としての機能が利用者からどの程度理解されていると思いますか。

選択肢：十分に理解されている、やや理解されている、どちらでもない、あまり理解されていない、理解されていない

	十分に理解されている	やや理解されている	どちらでもない	あまり理解されていない	まったく理解されていない
C Q 19_1. 構造設備にも配慮し、患者さんが利用しやすい薬局である。	1	2	3	4	5
C Q 19_2. 服薬指導を行う際に周りに会話が漏れないよう、パーティションで区切ったり、個室を用意している。	1	2	3	4	5
C Q 19_3. 高度で専門的な薬学管理を必要な患者さんに対応可能な薬局である。	1	2	3	4	5
C Q 19_4. 地域の医療機関と必要なときにいつでも連携できる体制を整えられた薬局である。	1	2	3	4	5
C Q 19_5. 情報提供を求められた場合には、速やかに応じられる薬局である。	1	2	3	4	5
C Q 19_6. 地域包括ケアシステムの構築に関する会議に参加し、多職種の医療従事者と連携を取っている薬局である。	1	2	3	4	5
C Q 19_7. 営業時間外(休日や夜間)でも要望があれば調剤に応じる薬局である。	1	2	3	4	5
C Q 19_8. 休日や夜間でも調剤していること掲示している薬局である。	1	2	3	4	5
C Q 19_9. 在宅医療を行える環境を整えている薬局である。	1	2	3	4	5
C Q 19_10. 薬学的知見に基づいた在宅での指導を実施した実績を提示している薬局である。	1	2	3	4	5

CQ20. 地域連携薬局の申請要件として、の資格取得について教えてください。

CQ20_1 専門医療機関連携薬局のように、勤務薬剤師に学会公認の専門薬剤師などの資格の取得を求めるべきであると思いますか。(ひとつだけ)

1. 思う
2. 思わない

CQ20.2. CQ20_1 の質問で、「1. 思う」と回答された方は、その理由を教えてください。(いくつでも)

1. 地域連携薬局は、専門医療機関連携薬局と同等の薬局機能と薬剤師の資質が求められると思うから
2. 地域連携薬局の申請要件の薬剤業務は、申請を出さなくても実施できるものであり、地域連携薬局を冠する意義を示し、他の薬局との差別化を行うために必要であるから
3. その他 (自由記載)

CQ20_3. CQ20_1 の質問で、「1. 思う」と回答された方は、どの分野の専門性が必要であると思いますか。(いくつでも)

1. 在宅療養支援認定薬剤師 (日本在宅薬学会)
2. 地域薬学ケア専門薬剤師 (日本医療薬学会)
3. 医療薬学専門薬剤師 (日本医療薬学会)
4. 緩和薬物療法認定薬剤師 (日本緩和医療薬学会)
5. 腎臓病薬物療法専門薬剤師 (日本腎臓病薬物療法学会)
6. 認定薬剤師 (日本臨床薬理学会)
7. 災害医療認定薬剤師 (日本集団災害医学会)
8. 公認スポーツファーマシスト (日本アンチドーピング機構)
9. その他 (自由記載)

CQ20_4. CQ20_1 の質問で、「2. 思わない」と回答された方は、その理由を教えてください。(いくつでも)

1. 学術学会公認の専門薬剤師などの資格を取得するのは、困難であるから。
2. 地域医療を行う上で、学術学会公認の専門薬剤師などの資格は不要であるから。
3. その他 (自由記載)

CQ21. 地域連携薬局の制度をより良いものにするためには、どのような取り組みやルールが必要であると考えますか。
(自由記載)

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

引き続き、地域連携薬局を利用している患者さんに対しても、地域連携薬局の認知度や期待する専門職能などを調査したいと考えています。

薬局を利用している患者さんに対するアンケートにご協力いただける場合にはチェックをいれてください。
(ご協力いただける場合はおって詳細を説明させていただきます。)

1. 患者さんのアンケートに協力できる
2. 患者さんのアンケートに協力できない

地域連携薬局認定制度に関する調査

I 薬局の基本情報について

AQ1. 同一グループ(財務上又は営業上若しくは事業上、緊密な関係にある範囲の保険薬局)の店舗数(貴薬局を含む)で当てはまるものを選択してください。

- 1.1 店舗
- 2.2～5 店舗未満
- 3.5～20 店舗未満
- 4.20 店舗以上 50 店舗未満
- 5.50 店舗以上 300 店舗未満
- 6.300 店舗以上

AQ2. 貴薬局の所在地を教えてください。
都道府県を選択してください。

AQ3. 貴薬局周辺の公共交通機関の運行状況について教えてください。(ひとつだけ)

1. 正午時間帯に 15 分以内の間隔で運行している。
2. 正午時間帯に 30 分以内の間隔で運行している。
3. 正午時間帯に 60 分以内の間隔で運行している。
4. 正午時間帯にほとんど運航されておらず、自家用車など交通手段が必要である。
5. その他(自由記載)

AQ4. 貴薬局の立地の状況を教えてください。(ひとつだけ)

1. 診療所の敷地内または周辺
2. 大病院(400床以上)の敷地内または周辺
3. 中小病院(400床未満)の敷地内または周辺
4. 同一ビル内に複数の医療施設(医療モール)
5. 同一ビル内に単一の医療機関
6. 同一敷地内に複数の医療機関(医療ビル)
7. その他(自由記述)

AQ5. 貴薬局の開局からの年数を教えてください。(整数半角でお答えください)
()年

AQ6. 貴薬局(当該店舗)に勤務する薬剤師の人数についてお答えください。
(該当者がいない場合は「0」と記入)

※常勤薬剤師数は、貴薬局で定めた就業規則に基づく勤務時間の全てを勤務する薬剤師とします。

※※非常勤薬剤師は、勤務時間が貴薬局で定める勤務時間に満たない薬剤師とします。

	常勤薬剤師	非常勤薬剤師
1.当該店舗に勤務する薬剤師数(休職中の者も含む)	人	人
2.当該店舗に1年以上勤務している薬剤師数	人	人
3.薬剤師認定制度認証機構が認証している研修認定制度等の研修認定を取得した薬剤師数	人	人
4.健康サポート薬局研修受講済み薬剤師数	人	人
5.かかりつけ薬剤師として登録している薬剤師数	人	人

AQ7. 貴薬局における 2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日間の処方箋受付回数を教えてください。

() 回

AQ8. 貴薬局で処方箋応需回数が最も多い医療機関が占める処方箋集中度(%)を教えてください。(少数第 1 位まで)

() %

AQ9. 2024 年 1 月 1 日現在での貴薬局で届出または算定しているものがあれば教えてください。(いくつでも)

1. 地域支援体制加算 1
2. 地域支援体制加算 2
3. 地域支援体制加算 3
4. 地域支援体制加算 4
5. 服薬情報提供料 1
6. 服薬情報提供料 2
7. 服薬情報提供料 3
8. 特定薬剤管理指導加算 2
9. 連携強化加算
10. かかりつけ薬剤師包括管理料
11. かかりつけ薬剤師指導料
12. 無菌製剤処理加算
13. 在宅患者調剤加算
14. 在宅患者訪問薬剤管理指導料
15. あてはまるものはない

AQ10. その他の認定や届け出について

AQ10_1. 貴薬局では健康サポート薬局の届出を行っていますか。

1. はい
2. いいえ (要件は満たしているが、届出していない)
3. いいえ (要件を満たしていないため、届出していない)

AQ10_2. 貴薬局では地域連携薬局の認定をとっていますか。

2. 認定要件は有しているが、申請していない
3. 認定要件を有していないため、申請していない

AQ11. 貴薬局では OTC 医薬品 (要指導医薬品・一般用医薬品) の販売をしていますか。

1. はい
2. いいえ

AQ11_1. OTC 医薬品を販売している場合、取り扱っている製品の品目数を教えてください。

(同じ製品でも、規格や含有数が異なる物は別製品として考えるため、JAN コードが異なれば、同一の医薬品でも別物としてカウントしてください。)

() 品目

AQ12. 2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日で、貴薬局が開局時間外に患者や地域住民から受けた相談件数の頻度を教えてください。

1. なかった
2. 月 1 回程度
3. 週 1 回程度
4. 週 2～5 回程度
5. 週 6 回以上

AQ13. 夜間・休日等の開局時間外の調剤について

AQ13_1. 2023年1月1日～12月31日で、貴薬局が夜間・休日等の開局時間外に患者などから調剤の求めはありましたか。

1. なかった
2. 月1回程度
3. 週1回程度
4. 週2～5回程度
5. 週6回以上

AQ13_2 AQ13_1の質問で、「AQ13_1の選択肢が標記されます」と回答された方は、そのときどのような対応をされていますか。

1. 主に自薬局で調剤する
2. 主に時間外の調剤に対応する他の薬局（夜間・休日の輪番薬局）などを紹介する
3. その他（自由記述）

AQ13_3 開局時間外に、相談を応需できるようにするために、薬局への連絡先を患者や地域住民にどのような方法で周知していますか。（いくつでも）

1. 薬剤情報提供書
2. おくすり手帳
3. 薬袋
4. 自局のホームページ
5. 行政・薬剤師等のホームページ
6. パンフレットなど
7. 周知していない
8. その他（自由記載）

AQ14. 2023年12月31日に、貴薬局で在庫していた調剤用医薬品の品目数を教えてください。

（同じ医薬品名でも、剤形、規格や含有数が異なる場合は別製品として考えるため、GS1コードが異なれば、同一の医薬品でも別製品としてカウントしてください。）

（ ）品目

AQ15. 2023年12月31日に、貴薬局で在庫していた麻薬の品目数を教えてください。（同じ医薬品名でも、剤形、規格や含有数が異なる物は別製品として考えるため、GS1コードが異なれば、同一の医薬品でも別物としてカウントしてください。）

（ ）品目

AQ16. 貴薬局の在庫医薬品の周知について教えてください。

AQ16_1. 貴薬局で、在庫している医薬品の情報を近隣の薬局などに周知していますか。

1. 周知している
2. 周知していない

AQ16_2. AQ16_1の質問で、「周知している」と回答された方は、どのような方法で周知していますか。（いくつでも）

1. インターネットで閲覧できるようにしている
2. 在庫一覧表を配布している
3. その他（自由記述）

AQ17. 貴薬局は、地域の薬剤師会（県薬剤師会、地域薬剤師会等）との連携は取れていると思いますか。

1. 十分に取れていると思う
2. ある程度は取れていると思う
3. あまり取れていないと思う
4. まったく取れていないと思う
5. 薬剤師会に加入している薬剤師はいない
6. その他

AQ18. 貴薬局は、地域で健康サポートや医薬品に関する教育等をおこなっていますか。（いくつでも）

1. 薬局単独でおこなっている。
2. 近隣の施設と連携しておこなっている
3. 自治体と連携しておこなっている
4. おこなっていない

II 地域連携薬局以外への質問事項

BQ1_1. 現時点で、貴薬局の地域連携薬局の認定に関する意向についてお教えてください。

1. 現在、認定申請を行っている
2. これから認定申請を行う予定である
3. 認定申請の予定がない

BQ1_2. BQ1_1「3. 認定申請の予定がない」と回答された方にお聞きます。認定を申請しない理由を教えてください。

1. 求められる認定要件をクリアできないため
2. 求められる認定要件はクリアできるが、認定申請を行う意向がないため
3. その他（自由記載）

BQ1_3. BQ1_2「2. 求められる認定要件はクリアできるが、認定申請を行う意向がないため」と回答された方にお聞きます。申請しない具体的な理由をお書きください
(自由記載)

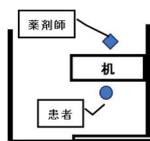
BQ2. 貴薬局の構造設備（説明環境）について教えてください。

BQ2_1. 利用者の服薬指導等の際に配慮した構造設備（説明環境）は、有していますか。

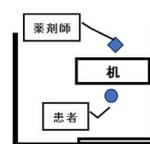
1. はい
2. いいえ

BQ2_2. BQ2_1 で「1. はい」と答えた方にお聞きます。利用者の服薬指導等の際に配慮した構造設備（説明環境）は、下記のどちらになりますか。（ひとつだけ）

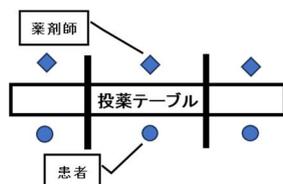
1. 天井まで遮蔽され壁で覆われている完全個室（他人の目に触れることはなく、隣の話し声が聞こえにくい状況）



2. パーティションなどで他の患者と区分された半個室(壁が天井まで覆われていない)ブース（他人の目に触れることはないが、隣の話し声が聞こえる状況）



3. 投薬カウンターに、隣の患者とパーティションで区分けされ、患者や顧客が着座できるスペース（他人の目に触れ、隣の話し声が聞こえる状況）



4. その他（自由記述）

BQ3. 貴薬局が、2023年1月1日～12月31日に実施した夜間・休日等の開局時間外の調剤の実績及びその開局時間を教えてください。

BQ3_1. 調剤実績 () 回

BQ3_2. 開局時間 () 時間

BQ4. 貴薬局が、2023年1月1日～12月31日に在庫として保管する医薬品を必要な場合に他の薬局開設者の薬局に提供した医薬品提供の実績を教えてください。

調剤実績 () 回

BQ5. 貴薬局の麻薬の2023年1月1日～12月31日の調剤の実績を教えてください。

調剤実績 () 回

BQ6. 貴薬局の在宅医療（訪問指導）への取り組みについて教えてください。

BQ6_1. 在宅医療、訪問指導（訪問指導在宅患者訪問薬剤管理指導料・居宅療養管理指導費を算定せず通常の外来調剤を実施する在宅患者の場合も含む）を行っていますか。

1. 実施している。
2. 実施していない。

BQ6_2. BQ6_1の質問で「1. 実施している」と回答した方にお伺いします。2023年1月1日から12月31日までで在宅医療を行った人数を場所ごとに教えてください。

・患者宅 () 人

・介護施設など () 人

BQ6_3. BQ6_1の質問で「1. 実施している」と回答した方にお伺いします。居宅等におけるすべての実績で、居宅療養管理指導もしくは在宅患者訪問薬剤管理指導料、在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料を算定していますか。

1. 全件算定している。
2. 一部算定している。
3. 全件算定していない。

BQ7. 貴薬局が、地域連携薬局の要件を満たすために、苦勞された点または苦勞が予想される点があれば教えてください。

(いくつか)

1. 構造設備に関する要件
2. 他医療提供施設との情報連携体制に関する要件
3. 地域における薬剤の安定供給体制に関する要件
4. 在宅医療体制に関する要件
5. 従事する保険薬剤師に関する要件
6. 書類の準備や作成に苦勞した
7. その他（自由記載）
8. 苦勞するところはない
9. 申請の予定はない

BQ8_1. 貴薬局が、地域連携薬局の要件のうち構造設備に関する要件を満たすためにハードルが高いと思う内容があれば教えてください。(ひとつだけ)

1. 相談内容が漏洩しないよう配慮した設備の設置が難しい
2. 座って服薬指導を受ける設備の設置が難しい
3. 高齢者、障害者等の円滑な利用に適した構造の設置が難しい
4. 無菌製剤処理を実施できる体制の設置が難しい
5. その他（自由記載）
6. ハードルが高いと思われる要件はない
7. 申請の予定はない

- BQ8_2. BQ8_1 の質問で「1～5」と回答した方にお伺いします。構造設備に関する要件を満たすことが難しいと思う理由があれば教えてください。(いくつかでも)
1. 設置するスペースの確保が難しい
 2. 設置するための金銭面の確保が難しい
 3. どのような設備を設置すればよいかわからない
 4. その他 (自由記載)
- BQ9. 貴薬局が、地域連携薬局の要件のうち、他医療提供施設との情報連携体制に関する要件 (医療機関の薬剤師等へ対する月平均 30 回以上の報告・連絡実績の確保) を満たすためにハードルが高いと思う内容があれば教えてください。(いくつかでも)
1. 入院・退院に関する情報提供に関して、医療機関からの求めや情報提供がないと薬局からの情報提供が難しく、実績の確保が難しい。
 2. 外来利用者の情報提供についてどのような内容を提供すればよいかわからず実績の確保が難しい。
 3. 居宅等の実績がないもしくは少ないため情報提供の実績確保が難しい。
 4. いずれの情報提供についても情報提供先がどのような情報を必要としているのかわからず情報提供することが難しい。
 5. その他 (自由記載)
 6. ハードルが高いと思われる要件はない。
 7. 申請の予定はない
- BQ10. 貴薬局が、地域連携薬局の要件のうち、地域における薬剤の安定供給体制に関する要件を満たすためにハードルが高いと思う内容があれば教えてください。(いくつかでも)
1. 時間外や夜間・休日対応の体制の確立が難しい
 2. 麻薬の調剤応需体制の確立が難しい
 3. 他薬局への医薬品や情報提供体制の確立が難しい
 4. 高度管理医療機器販売業の取得が難しい
 5. 衛生材料の提供体制の確立が難しい
 6. その他 (自由記載)
 7. ハードルが高いと思われる要件はない
 8. 申請の予定はない
- BQ11. 貴薬局が、地域連携薬局の要件のうち、在宅医療体制に関する要件を満たすためにハードルが高いと思う内容があれば教えてください。(いくつかでも)
1. 月平均 2 回以上の在宅医療実績数の確保が難しい
 2. 地域包括ケアシステムの構築に資する会議への参加が難しい
 3. その他 (自由記載)
 4. ハードルが高いと思われる要件はない
 5. 申請の予定はない
- BQ11_1. BQ11. の質問で「1. 月平均 2 回以上の在宅医療実績数の確保が難しい。」と回答した方にお伺いします。その理由を教えてください。
1. 居宅等のサービス提供実績が無いもしくは少ないため
 2. 居宅療養サービスを提供している患者は複数名いるが、同一施設に入所しているため
 3. その他 (自由記載)

BQ11_3. BQ11 の質問で「2. 地域包括ケアシステムの構築に資する会議への参加が難しい。」と回答した方にお伺いします。その理由を教えてください。

1. 地域包括ケアシステムの構築に資する会議への参加実績がこれまでになく、どのように参加すればよいかわからない。
2. どのような会議が地域包括ケアシステムの構築に資する会議にあたるのかわからない。
3. 薬局のマンパワーの問題で地域包括ケアシステムの構築に資する会議へ参加するのが困難である。
4. 開催日時（曜日、時間帯）が薬局の営業時間等と合わず、地域包括ケアシステムの構築に資する会議へ参加するのが困難である。
5. その他（自由記載）

BQ12. 貴薬局が、地域連携薬局の要件のうち、従事する保険薬剤師に関する要件を満たすためにハードルが高いと思う内容があれば教えてください。（いくつでも）

1. 常勤薬剤師の半数以上が1年以上常勤として勤務するのが難しい。
2. 常勤薬剤師の半数以上が健康サポート薬局研修を修了しているのが難しい。
3. 薬事に関するすべての薬剤師が地域包括ケアシステムに係る内容が学習できる研修を毎年継続的に受講するのが難しい。
4. その他（自由記載）
5. 申請の予定はない

BQ12_1. BQ12 の質問で「2. 常勤薬剤師の半数以上が健康サポート薬局研修を修了しているのが難しい。」と回答した方にお伺いします。その理由を教えてください。（いくつでも）

1. 薬局間で人事異動があるため、常時、「常勤薬剤師の半数以上」という認定条件を維持できない。
2. 「健康サポート薬局研修」が、いつ、どこで行われているのかなどの研修開講の情報を知る手段が分からない。
3. 「健康サポート薬局研修」の開催回数が不足していて、応募したかったが参加できない。
4. その他（自由記載）

BQ13. 貴薬局が地域連携薬局の要件のうち、医療安全対策に関する要件を満たすことが難しいと思う理由があれば教えてください。（いくつでも）

1. 「医薬品に係る副作用等の報告」を行う対象者があられない。
2. 医薬品に係る副作用等の報告」を行う方法が分からない。
3. 薬局ヒヤリ・ハットになる事例がない。
4. 薬局ヒヤリ・ハット事例の具体的な報告方法が分からない。
5. その他（自由記載）
6. 困難であると思われる要件はない。
7. 申請の予定はない

BQ14. 2023年1月1日から12月31日までに地域包括ケアシステムの構築に資する会議への参加の有無を教えてください。（いくつでも）

	でも 参加あり (いくつ)	参加回数
1. 市町村又は地域包括支援センターが主催する地域ケア会議	1	回
2. 介護支援専門員が主催するサービス担当者会議	2	回
3. 退院時カンファレンス	3	回
4. その他の会議（自由記載）	4	回

BQ15. 貴薬局が、2023年1月1日から12月31日までに行った地域の医療機関に勤務する薬剤師等に対して随時報告及び連絡を書面やメールなど記録に残る方法で実施した実績を教えてください。

BQ15_1. 入院時（年間）（ ）回

BQ15_2. 外来受診時（年間）（ ）回

BQ15_3. 退院時（年間）（ ）回

BQ15_4. 在宅訪問時（年間）（ ）回

BQ15_5. BQ15_1の質問において報告及び連絡した実績のうち、多く報告した医療機関等の順に、上位3位までの報告数を教えてください。

※2,3位の施設がない場合は0を入力してください。

・1位（ ）回

・2位（ ）回

・3位（ ）回

BQ16. 貴薬局の無菌製剤処理について教えてください。

BQ16_1. 無菌製剤処理を実施できる体制はありますか。（いくつでも）

1. 無菌室がある
2. クリーンベンチがある
3. ない

BQ16_2. BQ16_1の質問で「3. ない」と回答された方に伺います。無菌製剤処理を実施できる場所はどこになりますか。（いくつでも）

1. 共同利用による対応
2. 他の薬局の紹介
3. その他（自由記載）
4. 無菌製剤を行っていない

BQ17. 貴薬局が、2023年1月1日から12月31日に行った医療安全対策として報告した回数を教えてください。

BQ17_1. 医薬品に係る副作用等の報告回数（ ）回

BQ17_2. 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業への参加の報告回数（ ）回

BQ18. 貴薬局の常勤薬剤師数および「健康サポート薬局研修」に関する研修を修了した常勤として勤務している薬剤師について教えてください。（いくつでも）

・研修を修了した常勤薬剤師数（ ）人

BQ19. 貴薬局の常勤薬剤師が受講した「健康サポート薬局研修」の主催機関及び受講者数を教えてください。

（該当者がいない場合は「0」と記入）

BQ19_1. 公益社団法人 日本薬剤師会・公益財団法人日本薬剤師研修センター（ ）人

BQ19_2. 特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women（ ）人

BQ19_3. 一般社団法人 日本保険薬局協会（ ）人

BQ19_4. 一般社団法人 上田薬剤師会（ ）人

BQ19_5. 一般社団法人 薬局共創未来人財育成機構（ ）人

BQ19_6. 一般社団法人 日本薬業研修センター（ ）人

BQ19_7. 一般社団法人 イオン・ハピコム人材総合研修機構（ ）人

BQ19_8. その他（自由記載）（ ）人

BQ20. 貴薬局が、2023年1月1日～12月31日間に、居宅等における調剤並びに情報の提供及び薬学的知見に基づく指導の実績を教えてください。

BQ20_1. 情報提供の回数 () 回

BQ20_2. BQ20_1 の内、居宅等における調剤並びに情報の提供及び薬学的知見に基づく指導を行った患者総数を教えてください。() 人

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

重要

「地域連携薬局・専門医療機関連携薬局が地域で果たすべき機能に関する調査研究」

に関するアンケート調査のご案内在中

調査に御協力お願いいたします。

令和 6 年度 厚生労働科学研究費補助金

医薬品・医療機器等レギュトリーサイエンス政策研究事業

地域連携薬局・専門医療機関連携薬局が地域で果たすべき機能に関する調査研究

研究代表施設 : 城西国際大学

調査事務局

株式会社 矢野経済研究所